

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第44週〔10月31日～11月6日〕

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

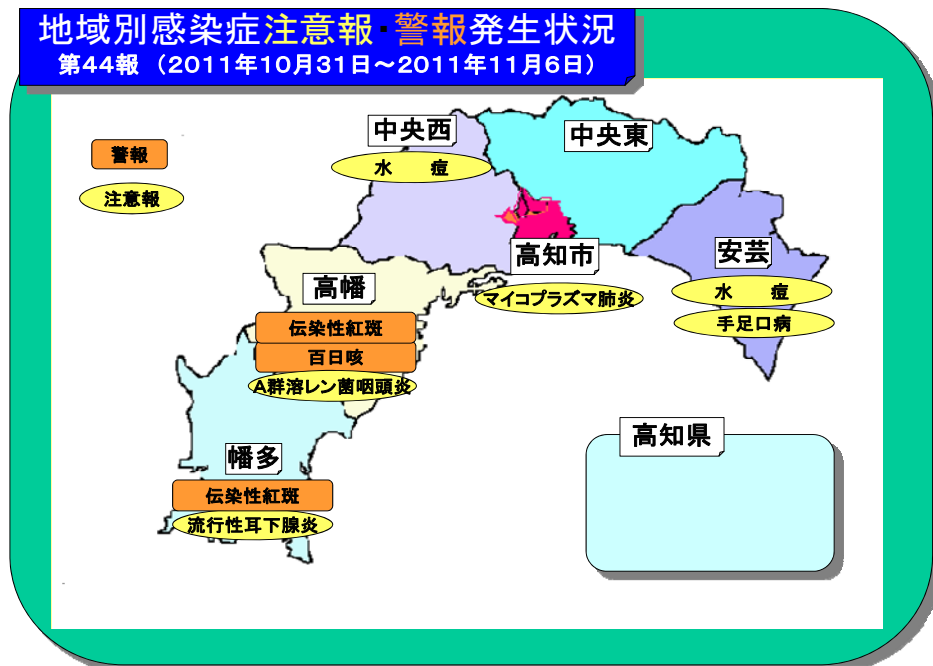
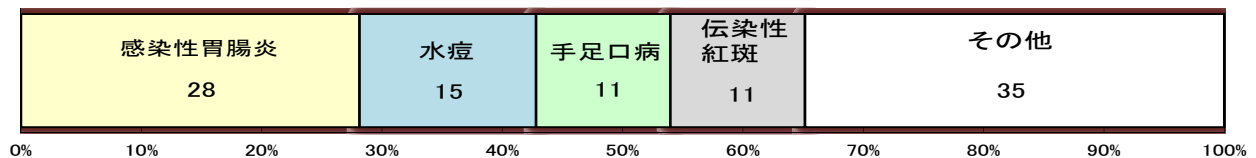
県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：なし

- 11月に入ったが日中は20℃以上あり過ごし易い日が続いた。今後は空気の乾燥に注意が必要である。
- 手足口病（安芸：注意報）**は総数は引き続き減少しているが、地域毎にみると安芸，中央西，高知市で増加し，安芸では注意報値を超している。
- 感染性胃腸炎**は全ての地域で増加し，総数は前週の約2倍に増加した。
- 水痘（安芸：注意報，中央西：注意報）**は高知市，安芸，中央西で増加し，安芸と中央西で注意報値を超した。増加傾向が続いており注意が必要である。
- 伝染性紅斑（幡多：注意報→警報，高幡：警報）**は幡多，高幡，中央東で増加し，幡多と高幡では警報値を超した。

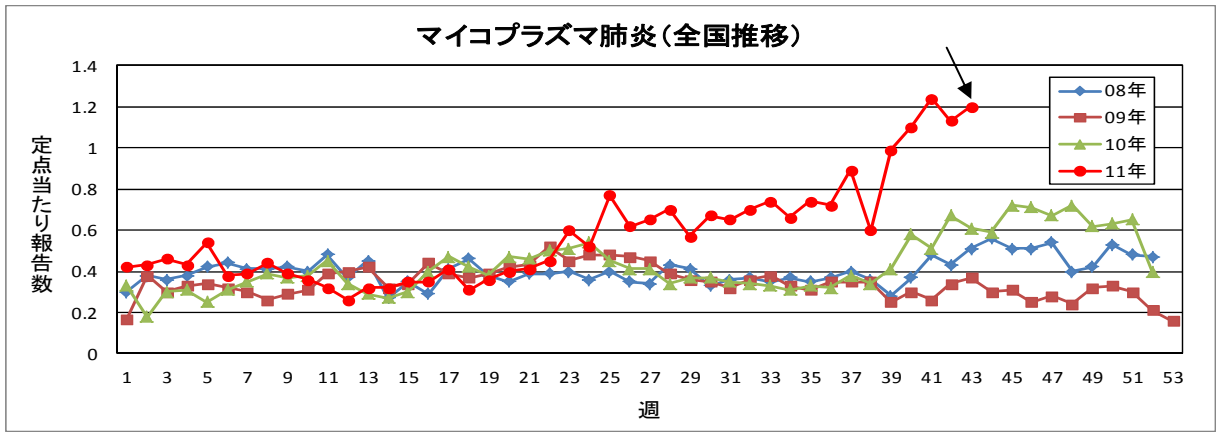
上位疾患構成図



マイコプラズマ肺炎：今週 0.43 （注意報値：0.50 警報値：2.00）

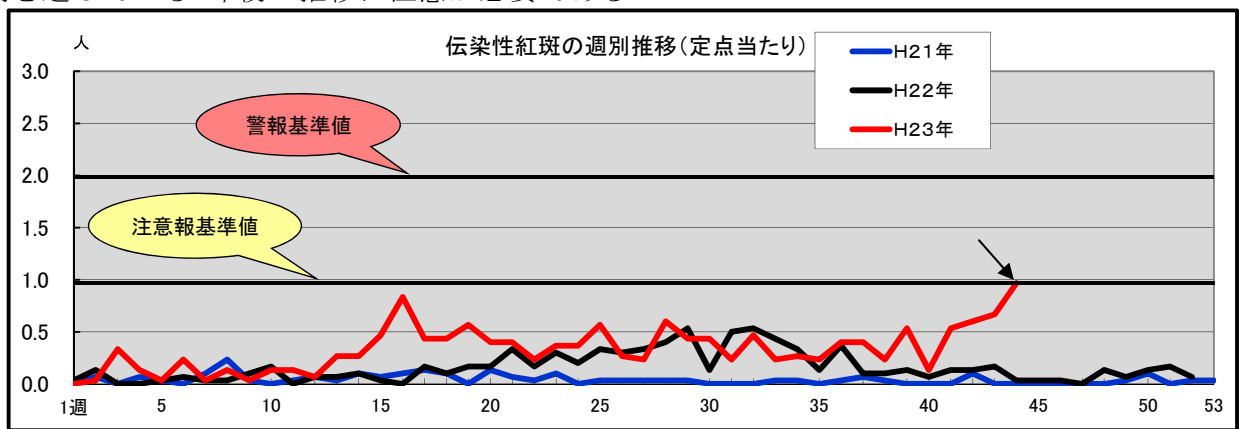
総数は1/2以下に減少し注意報値を下回った。幡多からの報告はなかったが，高知市では3例報告され，引き続き注意報値を超している。今週は *Mycoplasma pneumoniae* が3件検出されたが，高知市，中央東，高幡から搬入された検体であり，県全体的に流行していると思われる。全国的にも例年と比較して報告数が多い状態が続いており，今後も注意が必要である（下図参照）。

※マイコプラズマ肺炎は基幹定点医療機関の届出対象疾患であり，高知市（5医療機関）・幡多・中央東の計7医療機関からのみの報告である。



伝染性紅斑：今週 0.97 (注意報値：1.00 警報値：2.00)

総数は前週の約1.5倍に増加し、注意報値に迫る報告数となった。直近では平成19年に年間1000例を超える流行がみられ、その後は年間250例以下の報告であったが、今年は44週までの集計で400例を超している。今後の推移に注意が必要である。



百日咳：今週 0.17 (注意報値：0.60 警報値：1.00)

第43週で1例追加報告があり合計5例となり、今週も同じく5例報告された。高幡では引き続き警報値を超しており十分な注意が必要である。

検査情報

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
44	マイコプラズマ肺炎	6歳 女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
44	マイコプラズマ感染症	11歳 男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
44	マイコプラズマ肺炎	12歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入され検出された病原体

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況	備考
36	流行性角結膜炎	2歳 女	高幡	Adenovirus 3	重複感染(Saffoldvirus-NT:43週)

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 9例 (60代男, 30代女:2例, 40代女:2例) 《高知市》
 (80代女, 5~9歳男) 《幡多》 (50, 80代女) 《須崎》 (今年170例)
 4類感染症：日本紅斑熱 4例 (60代女, 80代女:2例, 80代男) 《安芸》 (今年11例)

○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《松谷内科》：ヘルパンギーナ 1例 (37歳男)

高幡

《もりはた小児科》：百日咳 1例 (32歳女：43週) アデノウイルスによる扁桃炎 1例 (1歳女)
 感染性胃腸炎の1例 (2歳男) はカンピロバクター腸炎

中央西

《日高クリニック》：带状疱疹 1例 (45歳男) マイコプラズマ気管支炎 2例 (12歳男, 28歳女)

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：マイコプラズマ肺炎 3例（10歳女：2例，9歳男）
カンピロバクター腸炎 1例（4歳男） アデノウイルス陽性 1例（2歳男）
百日咳の2例は兄弟で，1例（7歳男）はDPT4回済み，東浜株640倍，山口株80倍，1例（11歳男）はDPT4回済み，東浜株80倍，山口株640倍
《町田病院》：流行性角結膜炎の1例はアデノウイルス陽性

全国情報第42週（10/17～10/23）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核385例

3類感染症：細菌性赤痢9例、腸管出血性大腸菌感染症55例（有症者23例、うちHUS なし）、腸チフス1例

4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病6例、デング熱3例、日本紅斑熱2例、マラリア1例、レジオネラ症13例、レプトスピラ症2例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群19例（AIDS 4例、無症候14例、その他1例）、梅毒14例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん4例、麻しん6例

報告遅れ：細菌性赤痢2例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症2例、急性脳炎2例

◆定点把握の対象となる5類感染症

インフルエンザ

定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県（2.84）、山口県（0.71）、三重県（0.39）が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,790例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県（0.45）、宮崎県（0.36）、富山県（0.34）が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では北海道（2.48）、福井県（2.14）、富山県（2.03）が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山口県（7.4）、大分県（6.7）、宮崎県（5.0）、愛媛県（5.0）が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）と比較してかなり多い。都道府県別では島根県（2.04）、福井県（1.91）、青森県（1.79）、福島県（1.73）が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鹿児島県（3.63）、宮城県（3.32）、鳥取県（3.26）、愛媛県（3.14）が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では徳島県（0.61）、高知県（0.60）、愛媛県（0.54）が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では広島県（0.15）、沖縄県（0.12）、栃木県（0.08）が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別では徳島県（1.22）、愛媛県（0.68）、山口県（0.60）が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県（2.31）、佐賀県（2.30）、鳥取県（2.11）、愛媛県（2.11）が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県（3.44）、沖縄県（3.43）、富山県（2.80）、宮城県（2.67）が多い。

◆インフルエンザウイルス2011/12シーズン

2011/12シーズン最初の第36週と第39、41～43週にAH3亜型、第39週と第40週にB型、第42週にAH1pdm09が報告されている。

2011年第36～43週の累積では、AH1pdm09が埼玉県から1件、AH3亜型が6都県から25件、B型/山形系統株が大阪府から1件、B型/系統不明株が茨城県から5件報告されている。

直近の2011年第39～43週の5週間ではAH1pdm09が第42週に埼玉県で1件（定点の散发例）、AH3亜型が第39週に山口県で2件（幼稚園での集団発生）、第41週に茨城県で6件（小学校・幼稚園での集団発生）、東京都と神奈川県で各1件（定点の散发例）、第42週に神奈川県で2件（定点の散发例）、三重県で3件（小学校・幼稚園での集団発生）、山口県で2件（小学校・保育所での集団発生）、第43週に三重県で1件（定点の散发例）、兵庫県で2件（小学校での集団発生）、B型/山形系統株が第39週に大阪府で1件（定点の散发例）、B型/系統不明株が第40週に茨城県で5件報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(43週)	高知県(44週末累計) H23/1/3~H23/11/6
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ								1 (0.02)	464 (0.10)	12,340 (257.08)
小児科	咽頭結膜熱		1					1 (0.03)	1 (0.03)	483 (0.15)	317 (10.57)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	11	2	4	3	27 (0.90)	20 (0.67)	3,735 (1.19)	1,910 (63.67)
	感染性胃腸炎	4	22	35	7	1	4	73 (2.43)	38 (1.27)	10,044 (3.21)	6,761 (225.37)
	水痘	5	5	14	7	1	6	38 (1.27)	30 (1.00)	2,971 (0.95)	1,614 (53.80)
	手足口病	4	3	10	4	2	6	29 (0.97)	33 (1.10)	3,510 (1.12)	3,218 (107.27)
	伝染性紅斑		3	2	2	5	17	29 (0.97)	20 (0.67)	683 (0.22)	443 (14.77)
	突発性発疹		2	5		3	2	12 (0.40)	12 (0.40)	1,732 (0.55)	627 (20.90)
	百日咳			2		3		5 (0.17)	5 (0.17)	100 (0.03)	39 (1.30)
	ヘルパンギーナ		3	3	2			8 (0.27)	12 (0.40)	515 (0.16)	925 (30.83)
	流行性耳下腺炎		1	7	2		9	19 (0.63)	15 (0.50)	2,043 (0.65)	382 (12.73)
	RSウイルス感染症		1	11	1			13 (0.43)	24 (0.80)	1,864 (0.59)	643 (21.43)
眼科	急性出血性結膜炎									58 (0.09)	1 (0.33)
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)		344 (0.51)	43 (14.33)
基幹	細菌性髄膜炎									9 (0.02)	4 (0.57)
	無菌性髄膜炎									31 (0.07)	22 (3.14)
	マイコプラズマ肺炎			3				3 (0.43)	7 (1.00)	552 (1.20)	117 (16.71)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1 (0.14)	10 (0.02)	9 (1.29)
計 (小児科定点当たり人数)	13 (6.50)	48 (6.86)	104 (9.09)	27 (9.00)	19 (9.50)	47 (9.40)	258 (8.47)				
前週 (小児科定点当たり人数)	8 (4.00)	30 (4.29)	108 (9.34)	18 (6.00)	12 (6.00)	43 (8.00)		219 (7.02)	29,148	29,415 (819.72)	

定点当たり

第44週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(43週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ								0.02	0.10
小児科	咽頭結膜熱		0.14					0.03	0.03	0.15
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	1.00	0.67	2.00	0.60	0.90	0.67	1.19
	感染性胃腸炎	2.00	3.14	3.18	2.33	0.50	0.80	2.43	1.27	3.21
	水痘	2.50	0.71	1.27	2.33	0.50	1.20	1.27	1.00	0.95
	手足口病	2.00	0.43	0.91	1.33	1.00	1.20	0.97	1.10	1.12
	伝染性紅斑		0.43	0.18	0.67	2.50	3.40	0.97	0.67	0.22
	突発性発疹		0.29	0.45		1.50	0.40	0.40	0.40	0.55
	百日咳			0.18		1.50		0.17	0.17	0.03
	ヘルパンギーナ		0.43	0.27	0.67			0.27	0.40	0.16
	流行性耳下腺炎		0.14	0.64	0.67		1.80	0.63	0.50	0.65
	RSウイルス感染症		0.14	1.00	0.33			0.43	0.80	0.59
眼科	急性出血性結膜炎									0.09
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.51
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎									0.07
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.43	1.00	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.14	0.02
計 (小児科定点当たり人数)	6.50	6.86	9.09	9.00	9.50	9.40	8.47			
前週 (小児科定点当たり人数)	4.00	4.29	9.34	6.00	6.00	8.00		7.02		

